

出題分析			
試験時間	75 分	配点	150 点
		大問数	2 題
分量 (昨年比較)	[減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化]
【概評】 〈現代文〉 問題文の分量は 2024 年度と同程度。(五)の設問中に、問題文と同一出典の別の個所からの文章が引用された。 〈古文〉 やや珍しい出典からの出題。2015 年度 2/10 実施の試験でも同一出典が出題されている。(三)では、漢文の引用に対する理解が必要となる設問が出題された。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文 (評論) 山本圭 『嫉妬論』 ○行数 : 106 行 <input checked="" type="checkbox"/>	「奢侈や贅沢」にまつわる「嫉妬心」のとらえ方の変化について論じた文章。(二)の内容説明問題の選択肢 4 は「すでに享受した財」が不適當。(四)の内容説明問題の選択肢 1 は「面識を持つ人々に対する誇示」が不適當。(五)の内容合致問題は、引用された文章を丁寧に読解すればよい。(七)の記述問題は、現代における「誇示」の状況をまとめる。 ※ (昨年度) 評論、109 行、6 問 (7)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
二	古文 (室町・説話) 作者未詳 『塵塚物語』 ○行数 : 22 行 ○和歌 1 首を含む	寺の住僧が寄付された財宝に目がくらみ、欲深さを暗に指摘される話。(一)の語句問題は、a・b ともに古今異義語であることに注意する。(二)の現代語訳は「たてまつら」の敬意の対象を適切に踏まえる。(三)の内容説明問題は「聖言」のニュアンスを考える。(七)の記述問題は、住僧の人物像を踏まえて考える。 ※ (昨年度) 室町・説話、27 行、7 問 (8)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。同志社大学の問題文は通常 57 字/行 (20 行/頁)。

※昨年度のデータは、同一日の試験問題にもとづく。

設問構成 (設問数・形式・内容)													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	7問 (7)	6	1		4> 1		2	1					
二	7問 (8)	7	1		2	1> 1	1			1		3	

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

合格のための学習法
<p>〈現代文〉</p> <p>同志社大では例年長文が出題されるので、日頃から硬質な長文に慣れておくことが重要である。その際は、各パラグラフの主旨を意識しながら読解することを心がけよう。</p> <p>〈古文〉</p> <p>内容説明問題に比重を置きつつも、単語の意味や古文文法が問われる設問も例年出題されている。古文知識を定着させつつ、問題文を読解する練習を重ねよう。また、ときに漢文の知識が問われることもあるので、基本的な句法・語法は押さえておこう。</p>